

- ◆企画名 KUブリッジ～日本語カフェ～
 日程 2021年6月16日、6月25日、6月30日
 場所 Zoom
 参加者数 6月16日14名(ピア・サポータ4名、研修生1名、一般学生8名、留学生1名)
6月25日12名(ピア・サポータ2名、研修生3名、一般学生5名、留学生2名)
6月30日7名(ピア・サポータ2名、研修生3名、一般学生2名)

目的

留学生が気軽に日本語の会話練習をすることができる場を提供する。また、留学生と日本人学生の交流の場を定期的に設けることで、国際交流の促進を図ると共に留学生を日常的にサポートできる環境をつくる。

内容

- 19:50 Zoomを開始しスタッフが集合、スケジュールを確認
 19:55 ブレイクアウトルーム機能を使用し複数の部屋を作成、スタッフはそれぞれ担当の部屋に移動
 20:00 参加者に向けてZoomを開始、参加者はブレイクアウトルームへ入室し交流しその後も自由に部屋を移動しながら交流
 20:55 全てのブレイクアウトルームを閉室しイベント終了、参加者は解散
 21:00 スタッフはフィードバックを行い、解散

効果

- ・コロナウイルスの感染が拡大し日本人学生との交流が少なくなっている中で、オンラインではあるが留学生に日本人学生と交流する機会を作ることができた。
- ・日本人学生との交流を通して、日本語学習の後押しをすることができた。
- ・KUブリッジに所属後、イベントに参加したことがない新メンバーにKUブリッジの活動を知ってもらう機会となった。

改善点

- ・応募人数に比べ実際に参加した人数が大幅に少なかった。また、留学生がメインのイベントであるにもかかわらず留学生の参加率が低かった。
- イベント内容が留学生の求めているものとずれている可能性があるため、再度イベント内容を見直し修正する。また、リマインドメールの回数を増やすことも検討する。
- ・参加人数が多いブレイクアウトルームでは、スタッフが会話を回すのが難しく参加者が均等に発言することができなかった。
- 人数が多くなってしまったブレイクアウトルームは2つに分けるなどして柔軟に対応するようにする。
- ・コミュニケーションを重視したイベント内容であるが、オンライン開催のためややコミュニケーションをとるのが難しかった。
- スタッフの数を増やし、対面での実施も視野に入れ準備を進める。

感想

前回の日本語カフェとは大きくイベント内容を変更しての実施となった。具体的には応募対象者を留学生のみから日本人学生に広げ、ブレイクアウトルーム間の移動を自由にするなどの点を変更した。イベント内容を見直したことで企画段階に目指していた、より自由な雰囲気イベントに近づけることができた。しかし一方で、内容がイベントの実施目的からそれてしまう、留学生が求めているイベント内容ではなくなってしまった可能性があるなど反省点が多く見つかった。思うように活動ができない状況ではあるが、今後も反省点を踏まえイベントを改善し、より良いイベントの実施ができるよう努力したい。